



『しまの宝』

第3号 R2. 5.8発行

文責：校長 日高 洋子

学校を再開します

4月22日(水)から新型コロナウイルス感染症予防措置として、学校が休業(休校)となっていました。5月11日(月)から再開することになりました。

子ども達は「自粛」の意味を、十分に理解し、自宅学習に真剣に取り組んでくれました。運動不足になっていると思いますので、思い切りグラウンドで走り回ってほしいと思います。

さて、学校は再開しましたが、いまだに新型コロナウイルス感染症の拡大は収束の見通しが立たない状況です。五島市は現時点での家族留学以外のしま留学児童生徒の受け入れを控えることになりました。感染が治まり次第、あらためてしま留学の児童生徒が久賀島に来られるように、していきます。

ご心配をおかけした上に、温かいお声もかけていただきましたこと、お礼申し上げます。

学校行事の延期等 について

新型コロナウイルス感染症の対応として、学校行事も延期もしくは中止が決定しています。保護者の皆様、地域の皆様には準備などをしていたものがあり、大変心苦しく思いますが、子ども達、保護者、地域の方々そして職員への感染防止の対応としては苦渋の決断です。ご理解をお願いいたします。

【家庭訪問：延期】

5月8日(金)～5月13日(水)

- ・担任がこの期間ではなく、時間等を調整して、1度は訪問したいと考えています。

【中総体(球技・武道)：延期】

5月24日(日)→6月14日(日)

- ・3年生にとって最後の大会です。全国大会、九州大会は中止が決定されましたが、県中総体は、開催が保留となっています。地区大会は過密な集団を作る恐れがあるため、保護者等の応援はご遠慮いただき、延期して開催されます。しかし、様々な条件もあり、さらなる急な延期、もしくは中止もあります。

【中総体陸上大会：開催日変更】

6月7日(日)→6月14日(日)

- ・総合大会と同日に行うことが決定しています。これまでは、全学校が応援者を含んで全校生徒参加となっていたため、集まる人数からして中止になってもおかしくはありません。しかし、これまで練習してきた生徒のためにも、力を発揮する舞台だけは準備するとのことで、陸上部がある学校を中心に参加希望選手だけの記録会となります。本校では、卓球競技に参加した生徒達の練習がほとんどできないことから、参加を見合わせるようになります。

【久賀っ子の心を見つめる教育週間：延期】

6月11日(木)～6月17日(水)→未定

- ・毎年、保護者や地域の皆様に子ども達の学校の様子をご覧いただけるように、学校開放日をもうけていました。この取り組みは長崎県下一斉の取組でもありましたが、1学期中の開催は困難として、2学期以降に延期されることになりました。日程が決まり次第、お知らせしたいと思います。



【海の会：未定】

7月中旬～下旬土曜日

- ・子ども達も楽しみにしていた毎年恒例の海の会ですが、集まる方の多さからも、現時点では判断が付きません。決定については、6月初旬に決定させていただきたいと思います。海の会につきましても、たくさんの方のご協力あってこそですから、感染のリスクは避けなければなりません。子ども達が楽しみにしていただけに中止となれば大変残念ですが、決定次第、お知らせいたします。

現状のしま留学については、学校としても大変残念な状況です。この先どうなるかわかりませんが、感染症拡大が収束し、子ども達が島に帰ってくることを願って、今は家族留学で頑張っている子ども達を大事に育てていきたいと考えています。

地域の皆様には、今後とも、久賀小中学校の児童生徒を支えていただきますよう、よろしくお願いたします。

学校に鯉のぼりが泳ぎました

学校が休業して、1週間経った頃毎年校舎に泳いでいた鯉のぼりが帰ってきました。風が強い中、男性職員が校舎から必死にロープを引っ張り、立派な鯉のぼりを空に泳がせました。子ども達の声の代わりに、職員の歓声が上がって、「こどもの日」に向けた季節を感じる1日でした。



↑必死にロープを引っ張って、高く高く、鯉のぼりをあげます。

マスクをどうぞ・・・

新型コロナウイルス感染症によって、私たちの生活は一変しましたが、「正しく怖がる」ことを念頭に、日常を過ごさなければなりません。学校では、毎日登校後の手洗いや、消毒はもちろん、子ども達もこれまで給食時も席と席は十分な間隔を取り、同じ方向を向いて食事を取っていました。

また、マスクの着用は、誰もが知る感染予防対策のひとつになっていますが、現在、なかなか手に入れることが難しくなっています。インターネットで使い捨てのマスクを購入しようとすると、通常の5～6倍の値段で販売されているものがほとんどで、大変高額になっています。

しかし、ここ最近は購入が難しくなるなら、手作りをしようという人がどんどん表れて、巷では手作り用の型紙がインターネットで手に入れることができるようになりました。そこで、学校では先生方が業務の傍ら、時間を作ってマスクを製作し、学校前のデイサービスを利用されている方々に、マスクの差し入れを行いました。

あり合わせの端布で急いでこしらえたものですから、派手な柄も多い不出来なマスクを人生の先輩方には笑われるかもしれない・・・と思っていましたが、大変喜んでいただけて、こちらも幸せな気持ちになりました。

